

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 2年 6月16日	作成者名	渡辺 浩司	評価者名	栃本 由兼
-----	-------------	------	-------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	03 安心して安全に暮らせるまち	中心となる課	消防本部・消防本部警防課
分野	01 消防・救急	関係課	消防署・消防第1課
施策	29 救急体制の充実		消防署・消防第2課
			消防署・消防第3課
施策の目的	救急救命士の専門的な教育制度を充実させ、救急における市民の救命率向上を図るため、救急体制の充実を図ります。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	救急業務費
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
バイスタンダーによる応急手当実施率	心肺機能停止傷病者に対する、バイスタンダーによる応急手当の実施率	%	50	45	45.9	37.9	43.8	59.1	
救急協力事業所表示制度の認定数	同表示制度の認定数	件	130	50	68	128	133	135	
特定行為取得者数	救急救命士数に対する特定行為取得者(ブドウ糖投与等処置拡大資格者数)	%	85	41	78	91	93	89	
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	<ul style="list-style-type: none">救命講習に関する市民の積極的な参加と、市内の事業所などに設置されているAEDを市民誰もが使用できる環境づくりが重要である。感染症が大流行した場合の感染予防関係消耗品の備蓄市民の高齢化、増加に伴う救急要請の増加対応その他、救急救命士が行う特定行為において、「心肺停止前の重度傷病者に対する静脈路確保と輸液」及び「血糖測定並びにブドウ糖投与」が新たに加わったことから、早期に救急救命士全員がこれら救命処置を行う資格取得のための教育環境を整えることが課題である。	対応策	<ul style="list-style-type: none">各種救命講習の受講者数増加を図り、バイスタンダーによる応急手当の実施率を向上させる。また、市内の事業所等に設置されているAEDを市民誰もが使用できる環境作りを進める。感染症予防関係予算を増し適切な備蓄を行う。救急隊の増隊を行うその他、新たに救急救命士が行う特定行為に加わった、「心肺停止前の重度傷病者に対する静脈路確保と輸液」及び「血糖測定並びにブドウ糖投与」の資格取得を計画的に進める。
----	---	-----	---

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	・バイスタンダーによる応急手当の実施率が昨年度より増加し目標値を達成。 ・令和2年度中に高規格救急車を1台購入し令和3年度より東部分署に救急隊1隊を増隊する計画となった。 ・その他予定のとおり進んでいる。
B		
今後の方向性(人員/予算) (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	・新型コロナウイルス感染症が流行を教訓に今後の対応として感染予防対策物品の購入増加及び令和3年度より救急隊の増隊が計画されていることから人員及び予算の増加が必要。
↑		

(評価者コメント)

バイスタンダーによる応急手当の実施率が昨年度より増加し目標値を達成している。応急手当の普及啓発については、コロナ禍を踏まえ感染予防対策を徹底し推進する。救急隊増隊について、新規車両の購入及び職員配置等体制整備を進める。

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 2年 6月16日	作成者名	渡辺 浩司	評価者名	栃本 由兼
-----	-------------	------	-------	------	-------

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			R 3 予 算 額	事業費 うち 一般財源		
		事業 コード	事業 内容	事業 区分	R1決算額	事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	評価結果				事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	施 策 内 優 先 度			コ メ ン ト	
					R2予算額			施 策 へ の 貢 献 度	経 費 水 準	事 業 手 法	受 益 ・ 負 担 の 公 平 性							
					R3計画額													事業費
xx		救急医療機関との連絡調整事業 (消防本部総務課)																
	00	救急医療機関との連絡調整事業		0														0
		01 xx xx xx xx 00	義務	0	8		B	B	A	B	8		終				0	
		救急現場において心肺停止状態の患者に対し、救急救命士		0														0
		0		0														0
06		救急業務推進事業 (消防本部総務課)																
	01	救急業務推進事業		11,545														11,245
		01 09 01 01 06 01	義務	10,883	4	○	A	A	A	A	4	○	義	令和3年度より救急業務推進事業に業務名を変更し救急医療機関との連絡調整事業を統合			7,712	
		通常搬送業務の他、市民の救命率を向上させるために、救		11,245														7,712
		7,727		4,451														7,712
				計 (千円)	事業費	11,545	R1決算額	10,883	R2予算額	11,245	R3計画額	11,245	R3予算額					
					うち一般財源	11,545		7,365		7,727		7,712						

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
 7 令和3年度で終了 8 令和2年度で終了 9 令和元年度で終了